

県内景況感は僅かながら悪化

～先行き(10～12月)は大幅な悪化予想～

目次

調査要領		1
1. 概況	-----	2
2. 業況判断	製造業は悪化、非製造業は改善	3
3. 売上	製造業、非製造業とも悪化	3
4. 受注	製造業は悪化、建設業は改善	4
5. 経常利益	製造業は悪化、非製造業は改善	4
6. 在庫	商品在庫、製品在庫とも悪化	4
7. 販売価格・仕入価格	販売価格：製造業は上昇	5
8. 資金繰・借入金残高	資金繰：製造業、非製造業とも改善	5
9. 雇用	製造業は不足感に転じる	6
10. 設備投資	製造業、非製造業とも減少	6
11. 経営上の問題点	「過当競争」・「売上・受注の減少」が増加	7

調査要領

- 調査目的** 鳥取県内の企業動向を調査し、県内景気の現状及び先行きを把握するため。
- 調査対象** 県内企業 228 社、回答企業 104 社、回答率 45.6%。
- 調査方法** 各支店を通じるか、または郵送による記名式回答。
- 調査対象期間** 平成 20 年 7 ~ 9 月実績及び平成 20 年 10 ~ 12 月予想。
- 調査時点** 平成 20 年 10 月中旬 ~ 下旬。

業種別回答企業数

		回答企業数	構 成 比	うち中小企業	構 成 比
製 造 業	食 料 品	9	8.7	9	100.0
	織 維 ・ 縫 製	4	3.8	4	100.0
	木 材 ・ 木 製 品	5	4.8	5	100.0
	紙 ・ 紙 加 工 品	3	2.9	3	100.0
	窯 業 ・ 土 石	5	4.8	5	100.0
	金 属 ・ 機 械	12	11.5	12	100.0
	電 気 機 械	13	12.5	10	76.9
	印 刷 ・ そ の 他	5	4.8	5	100.0
計		56	53.8	53	94.6
非 製 造 業	建 設 業	13	12.5	13	100.0
	卸 売 業	17	16.3	17	100.0
	小 売 業	10	9.6	7	70.0
	運 輸 業	3	2.9	3	100.0
	旅 館 ・ ホ テ ル	5	4.8	5	100.0
計		48	46.2	45	93.8
全 部 門 合 計		104	100.0	98	94.2

注：中小企業の範囲

- 製造業・建設業・運輸業... 資本金 3 億円以下または従業員 300 人以下の企業
- 卸 売 業..... 資本金 1 億円以下または従業員 100 人以下の企業
- 小 売 業..... 資本金 5 千万円以下または従業員 50 人以下の企業
- サ ー ビ ス 業..... 資本金 5 千万円以下または従業員 100 人以下の企業

BSIとは

ビジネス・サーバイ・インデックスは業況や売上など項目ごとに、企業経営者の「好転」、
「不変」、「悪化」の判断を集計し指標化したもので、時系列的に景気の動きを把握する
もの。BSI がプラスならば全体として「良い・上昇・好転」とみなされ、逆にマイナス
は「悪い・低下・悪化」と判断できる。

1 概況.....県内景況感は僅かながら悪化

鳥取県企業動向調査によると、平成20年7～9月の「自社業況の総合判断」は、非製造業で建設業や小売業などが改善したことから悪化幅が僅かながら縮小したが、製造業では、印刷・その他や電気機械などが悪化したことなどから悪化幅が拡大し、全産業のBSIは10.5と前期比(8.5)2.0ポイント悪化し、景況感は僅かながら悪化した。また、前回調査の7～9月予想(5.5)から5.0ポイント低下している。

先行きの景況感は、10～12月は製造業、非製造業とも悪化幅が拡大し、全産業でも悪化幅が拡大する予想(19.0)である。特に製造業では、景気後退感の強まりを受け、金属・機械や食料品が「悪化」に転じることなどから、7～9月から13.0ポイント悪化幅が拡大し、20.5となる予想となっている。

1.業種別の景況

製造業の景況感は、3四半期連続で「悪化」となった。前期比でも4.5ポイント悪化幅が拡大した。(3.0 7.5)

非製造業の景況感は、同1.0ポイント改善したが、46四半期連続でマイナスとなった。(15.5 14.5)

2.売上高の景況

売上高のBSIは、製造業が8四半期ぶりに減少に転じ、非製造業は減少幅が拡大したことから、全産業でも減少幅が拡大した。(2.0 8.0)

3.受注高の景況

受注高のBSIは、建設業で減少幅が縮小したが、製造業は2四半期ぶりに減少に転じたことから、全産業でも2四半期ぶりに減少に転じた。(+2.0 7.0)

4.経常利益の景況

経常利益のBSIは、非製造業は減少幅が縮小したが、製造業が2四半期ぶりに減少に転じたことから、全産業でも減少幅が拡大した。(8.5 11.5)

5.販売価格、仕入価格の景況

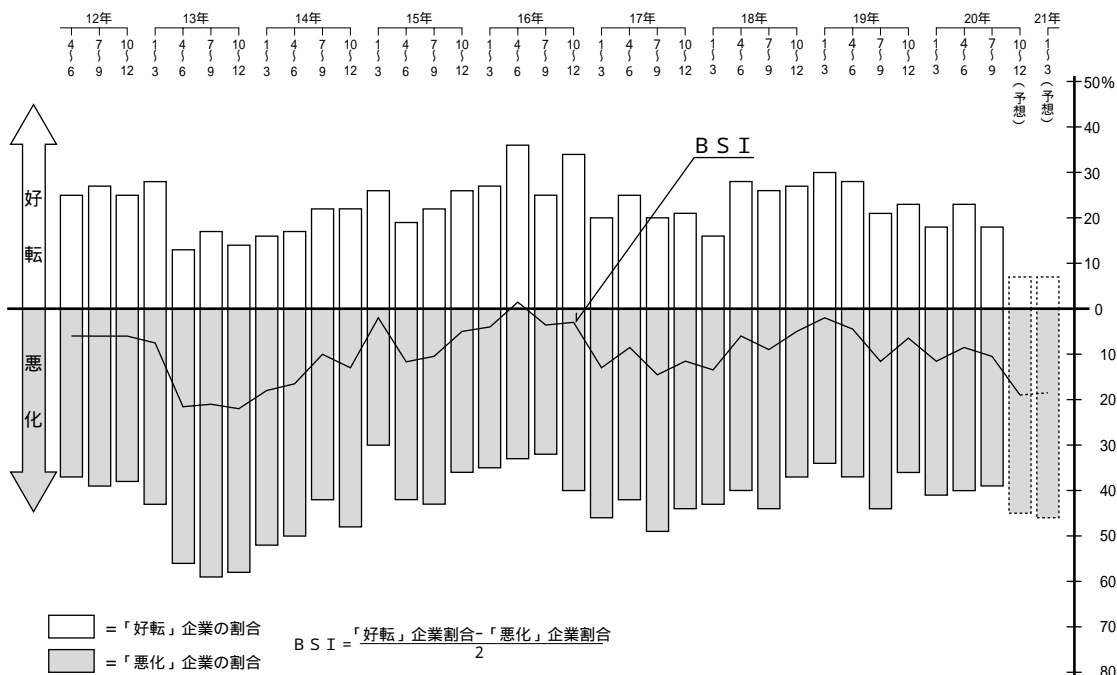
販売価格のBSIは、非製造業で上昇幅が縮小したが、製造業は上昇幅が拡大したことから、全産業でも上昇幅が僅かながら拡大した。(+5.0 +5.5)

仕入価格のBSIは、製造業は上昇幅が拡大したが、非製造業は上昇幅が縮小したことから、全産業では同水準で推移した。(+33.0 +33.0)

6.経営上の問題点

経営上の問題点(大きいものから2項目の選択)についての上位項目(全産業)は、「仕入価格の上昇」を選択する企業が全体の56%、「売上・受注の減少」が46%、「過当競争」が23%、「先行き見通し難」が20%、「諸経費の増加」が14%となった。「過当競争」が前回調査より8ポイント上昇した。

図 - 1 自社業況の総合判断の推移



2 業況判断.....製造業は悪化、非製造業は改善

自社の業況が前年同期に比べて好転しているか、悪化しているかについて経営者の判断を示す「自社業況の総合判断」のBSI(好転の割合-悪化の割合)÷2は、20年7~9月は10.5で、4~6月の8.5より2.0ポイント悪化し、前回(20年7月)調査の先行き予想の5.5よりも5.0ポイント悪化した。

今後の予想のBSIは、20年10~12月は19.0、21年1~3月は19.5と大幅に悪化する予想である。

製造業の業況判断のBSIは、20年4~6月の3.0から7~9月は、電気機械や印刷・その他などが悪化し、7.5と4.5ポイント悪化し、3四半期連続

で「悪化」となった。先行き10~12月は、20.5と大幅に悪化幅が拡大し、21年1~3月も18.0となる予想となっている。

非製造業の業況判断のBSIは、20年4~6月の15.5から7~9月は小売業や建設業が改善したことなどから14.5と1.0ポイント悪化幅が縮小した。先行き10~12月は、卸売業が大幅に悪化することなどから、18.0と悪化幅が拡大する予想である。21年1~3月も卸売業や小売業などで悪化幅が拡大することから22.0と悪化幅が拡大する予想となっている。

図 - 2 業況総合判断 (製造業)

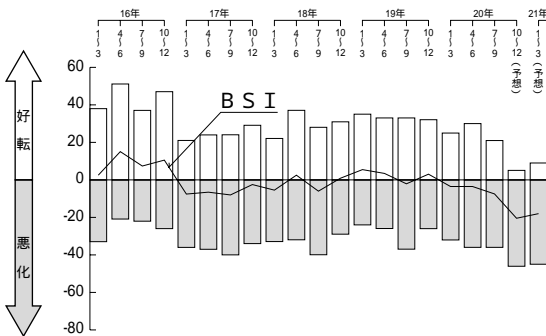
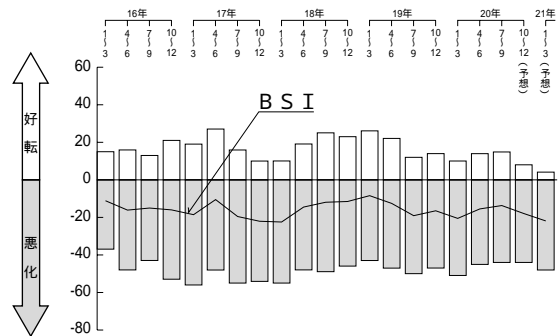


図 - 3 業況総合判断 (非製造業)



3 売上.....製造業、非製造業とも悪化

製造業は減少に転じ、非製造業は減少幅が拡大した。

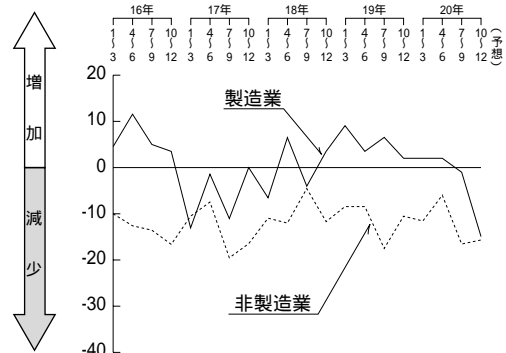
製造業は木材・木製品や金属・機械などで改善したが、印刷・その他や繊維・縫製などは減少に転じ、電気機械も減少幅が拡大したことから、20年7~9月のBSIは、4~6月の+2.0から1.0と減少に転じた。10~12月は金属・機械以外の業種は減少となることから、15.0と減少幅が大幅に拡大する予想である。非製造業は卸売業と小売業が減少に転じたことにより、全ての業種が減少となり、20年7~9月のBSIは、4~6月の6.0から16.5と減少幅が大幅に拡大した。10~12月は小売業が増加に転じ、建設業で減少幅が縮小するが、卸売業で減少幅が拡大することから、15.5と僅かながら減少幅が縮小する予想となっている。

なお、売上高の回答の集計は、全産業(回答のあった44社の加重平均)では、20年7~9月の実績は非製造業で減少したが、製造業が増加したことから前年同期比+1.6%だった。10~12月の予想は、製造業・非製造業ともに減少することから、同2.3%の予想となっている。

産業別にみると、製造業(28社)は20年7~9月の実績は、金属・機械や電気機械などが増加したこと

から、同4.9%増加した。10~12月の予想は、繊維・縫製や電気機械が減少することなどから同2.2%の予想である。非製造業(16社)は、7~9月の実績は建設業と小売業が減少し同3.7%となった。10~12月の予想も卸売業と建設業などが減少することから同2.4%と引き続き減少する予想となっている。

図 - 4 売上高のBSI



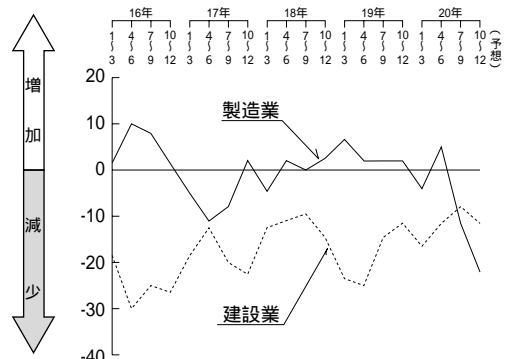
4 受注.....製造業は悪化、建設業は改善

製造業は減少に転じ建設業は減少幅が縮小した。

製造業は金属・機械が増加に転じ、木材・木製品で増加幅が拡大したが、電気機械や繊維・縫製が減少に転じたことなどから、20年7～9月の受注高BSIは7.5と4～6月の+5.0から12.5ポイント悪化し、再び減少に転じた。10～12月は印刷・その他は改善するものの、金属・機械や食料品が減少に転じることなどからBSIは22.0と引き続き悪化する予想である。

建設業の受注高BSIは、20年4～6月の11.5から7～9月は8.0と2四半期連続で減少幅が縮小した。10～12月は11.5と減少幅が拡大する予想となっている。

図 - 5 受注額のBSI



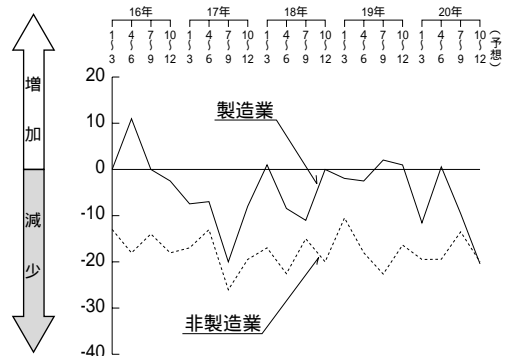
5 経常利益.....製造業は悪化、非製造業は改善

製造業は減少に転じ非製造業は減少幅が縮小した。

製造業は、木材・木製品で減少幅が縮小したが、金属・機械や印刷・その他などは減少に転じたことから、BSIは20年4～6月の+0.5から7～9月は9.5と再び減少に転じた。10～12月は金属・機械や電気機械などが大幅に悪化することから21.5と減少幅が大幅に拡大する予想である。

非製造業は、建設業や運輸業などで減少幅が拡大したが、小売業が増加に転じ、卸売業などで減少幅が縮小したことから、20年7～9月のBSIは13.5と4～6月の19.5から6.0ポイント改善した。10～12月は建設業で減少幅が縮小するものの、小売業が減少に転じることなどから、21.0と減少幅が拡大する予想となっている。

図 - 6 経常利益のBSI



6 在庫.....製品在庫、商品在庫とも悪化

製品在庫、商品在庫とも過剰感が増加した。

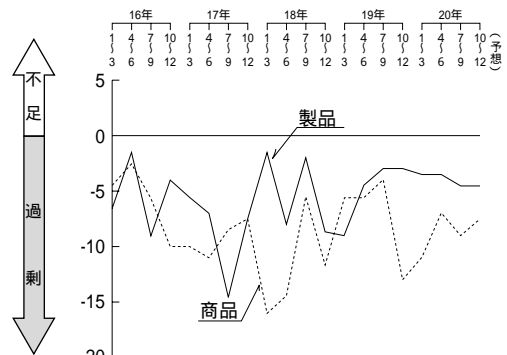
製品在庫のBSI「(不足-過剰)÷2」は窯業・土石や金属・機械で過剰感が減少したが、電気機械や印刷・その他で過剰感が増加したことなどから、20年7～9月のBSIは4.5となり4～6月の3.5から1.0ポイント悪化した。10～12月は印刷・その他や金属・機械などで過剰感が減少するものの、木材・木製品などが過剰感に転じることから、BSIは4.5と7～9月と同水準で推移する予想となっている。

商品在庫のBSIは、卸売業で過剰感が増加したことなどから、20年7～9月は4～6月の7.0から2.5ポイント悪化し9.5となった。10～12月は卸売業で過剰感が減少することから7.5と2.0ポイント改善する予想である。

製造業の原材料在庫のBSIは、印刷・その他や木材・木製品で過剰感が減少したが、食料品で不足感が減少し、電気機械で過剰感が増加したことなどから、20年4～6月の3.5から1.0ポイント悪化し4.5となった。10～12月は、印刷・その他や金属・機械など

で過剰感が減少することから、BSIは2.0となる予想となっている。

図 - 7 製品・商品在庫のBSI



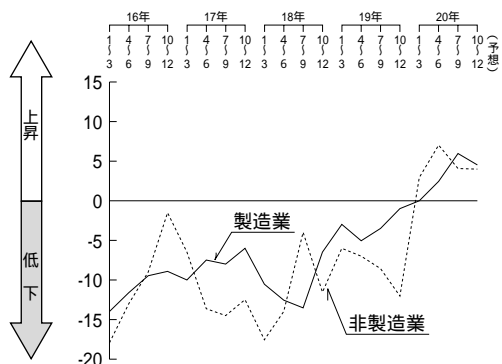
7 販売価格・仕入価格.....販売価格：製造業は上昇

販売価格は製造業が2四半期連続で上昇した。

製造業の販売価格のBSI「(上昇-低下)÷2」は、電気機械や印刷・その他で低下幅が拡大したが、木材・木製品や紙・紙加工品などで上昇幅が拡大したことなどから、20年4～6月の+2.5から7～9月は+6.0となり、2四半期連続で上昇となった。10～12月は電気機械で低下幅が拡大することなどから、BSIは+4.5と上昇幅が縮小する予想である。

非製造業の販売価格のBSIは、建設業や旅館・ホテルで低下幅が縮小したが、卸売業や小売業で上昇幅が縮小したことから、20年7～9月のBSIは+4.0と上昇幅が縮小した。10～12月は建設業や旅館・ホテルで低下幅が拡大するが、卸売業で上昇幅が拡大することからBSIは+4.0と7～9月と同水準で推移する予想となっている。

図 - 8 販売価格のBSI

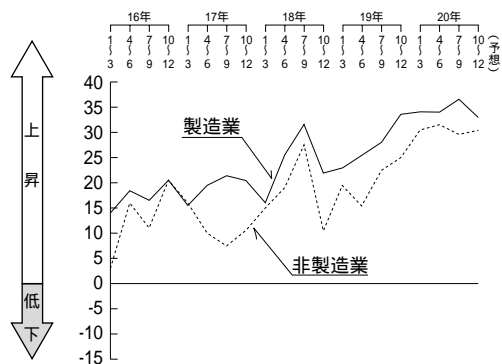


仕入価格は製造業で上昇幅が拡大した。

製造業の原材料仕入価格のBSI「(上昇-低下)÷2」は繊維・縫製や紙・紙加工品などで上昇幅が縮小したが、食料品や電気機械などで上昇幅が拡大したことなどから、20年4～6月の+34.0から7～9月は+36.5と2.5ポイント上昇した。10～12月は、電気機械や金属・機械で上昇幅が縮小することから、BSIは+33.0と上昇幅が縮小する予想である。

非製造業の仕入価格のBSIは、運輸業と旅館・ホテルなどで上昇幅が拡大したが、卸売業で上昇幅が大幅に縮小したことから、BSIは20年4～6月の+31.5から7～9月は+29.5と2.0ポイント上昇幅が縮小した。10～12月は卸売業で上昇幅が拡大することなどから、+30.5と1.0ポイント上昇幅が拡大する予想となっている。

図 - 9 仕入価格のBSI



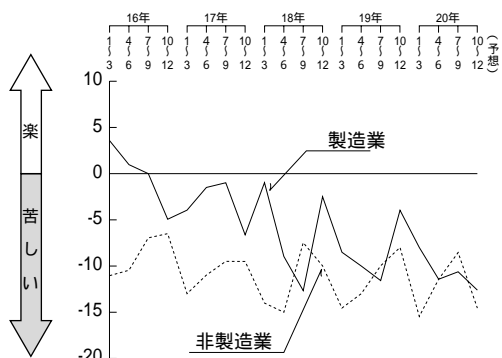
8 資金繰・借入金残高.....資金繰：製造業、非製造業とも改善

資金繰りは製造業、非製造業とも改善した。

製造業の資金繰りのBSI「(楽-苦しい)÷2」は木材・木製品や紙・紙加工品などが改善したことなどから、20年4～6月の11.5から7～9月は10.0と1.5ポイント改善した。10～12月は12.5と2.5ポイント悪化する予想である。

非製造業のBSIは、20年7～9月は小売業や建設業が改善したことなどから8.5と4～6月の11.5から3.0ポイント改善した。10～12月は運輸業や建設業などが悪化することから14.5と6.0ポイント悪化する予想となっている。

図 - 10 資金繰のBSI

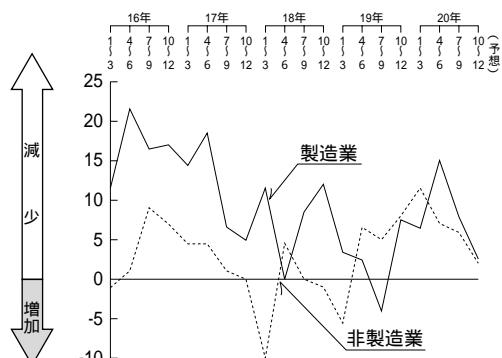


借入金残高は製造業、非製造業ともに減少幅が縮小した。

製造業の借入金残高のBSI「(減少-増加)÷2」は紙・紙加工品や金属・機械で減少幅が縮小したことなどから、20年4～6月の+15.0から7～9月は+8.0と減少幅が縮小した。10～12月は+2.5と減少幅が縮小する予想である。

非製造業の20年7～9月のBSIは、旅館・ホテルなどで減少幅が縮小したことなどから4～6月の+7.0から+6.0と減少幅が縮小した。10～12月も+2.0と引き続き減少幅が縮小する予想となっている。

図 - 11 借入金残高のBSI



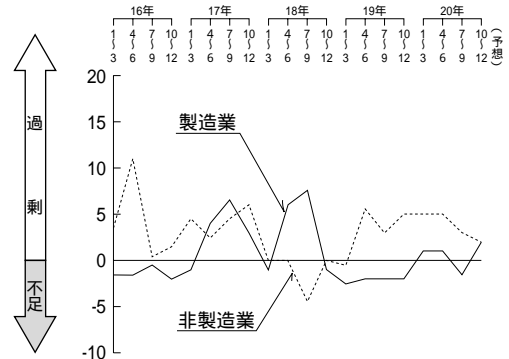
9 雇 用..... 製造業は不足感に転じる

常用雇用者BSIは、製造業で不足感に転じ、非製造業は過剰感が減少した。

製造業の20年7～9月の常用雇用者BSI「(過剰-不足)÷2」は、金属・機械が過剰感に転じたが、木材・木製品や食料品が不足感に転じたことなどから、4～6月の+1.0から1.5と不足感に転じた。10～12月のBSIは金属・機械や紙・紙加工品で過剰感が拡大することなどから+2.0と再び過剰感に転じる予想となっている。

非製造業のBSIは20年4～6月の+5.0から、7～9月は運輸業で不足感が拡大し、旅館・ホテルや卸売業で過剰感が減少したことなどから、+3.0と過剰感が減少した。10～12月は卸売業で過剰感が増加するもの、建設業で過剰感が大幅に減少することから+2.0と僅かながら過剰感が減少する予想である。

図 - 12 雇用(常用雇用者)のBSI



10 設備投資..... 製造業、非製造業とも減少

20年7～9月に設備投資をした企業は回答企業の30%で前年同期実績(36%)を6ポイント下回った。10～12月の設備投資計画は24%で前年同期実績(33%)を9ポイント下回る計画となっている。

製造業の20年7～9月の設備投資の実施割合は、印刷・その他や食料品が低下したことから38%と前年同期実績(48%)より10ポイント下回った。投資目的(複数回答、構成比、この項目は建設業を含む)は、「補修・更新」が77%、「増産・能力増強」が32%、「合理化・省力化」と「研究開発」がともに18%、「販売管理業務の合理化」が9%だった。10～12月の実施計画は食料品や電気機械などが低下することなどから30%と前年同期実績(44%)より14ポイント下回る計画である。

非製造業の7～9月の実施割合は21%と前年同期実績(25%)を4ポイント下回った。小売業と運輸業で前年同期実績を下回った。投資目的(建設業を除く)は、「補修・更新」が78%、「販売力の増強」が33%、「合理化・省力化」と「新規事業(店舗移転含む)」がともに11%だった。10～12月の実施計画は、運輸業と建設業を除く全ての業種で前年を下回り、17%と前年同期実績(22%)より5ポイント下回る計画となっている。

表 - 1 業種別設備投資企業割合

()内は前年同期実績：単位%

	20年4～6月 実 績	20年7～9月 実 績	20年10～12月 計 画
全 産 業	34(25)	30(36)	24(33)
食 料 品	38(44)	33(60)	33(60)
繊 維 ・ 縫 製	40(0)	0(0)	0(25)
木 材 ・ 木 製 品	0(0)	20(0)	20(0)
紙 ・ 紙 加 工 品	50(33)	0(33)	0(33)
窯 業 ・ 土 石	0(0)	0(20)	0(0)
金 属 ・ 機 械	64(45)	67(64)	50(54)
電 気 機 械	64(58)	69(64)	54(80)
印 刷 ・ そ の 他	20(22)	0(57)	0(25)
製 造 業	45(33)	38(48)	30(44)
建 設 業	15(7)	8(7)	8(7)
卸 売 業	11(7)	18(11)	12(28)
小 売 業	44(40)	30(60)	30(33)
運 輸 業	50(45)	33(60)	33(25)
旅 館 ・ ホ テ ル	0(0)	40(0)	20(25)
非 製 造 業	21(17)	21(25)	17(22)

図 - 13 設備投資実施企業の割合の推移

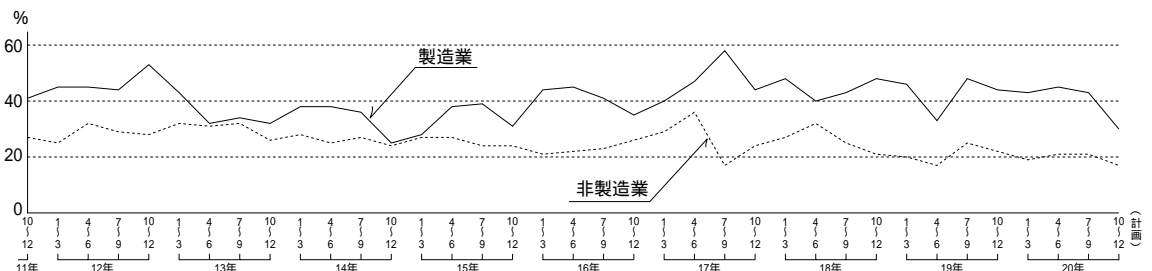
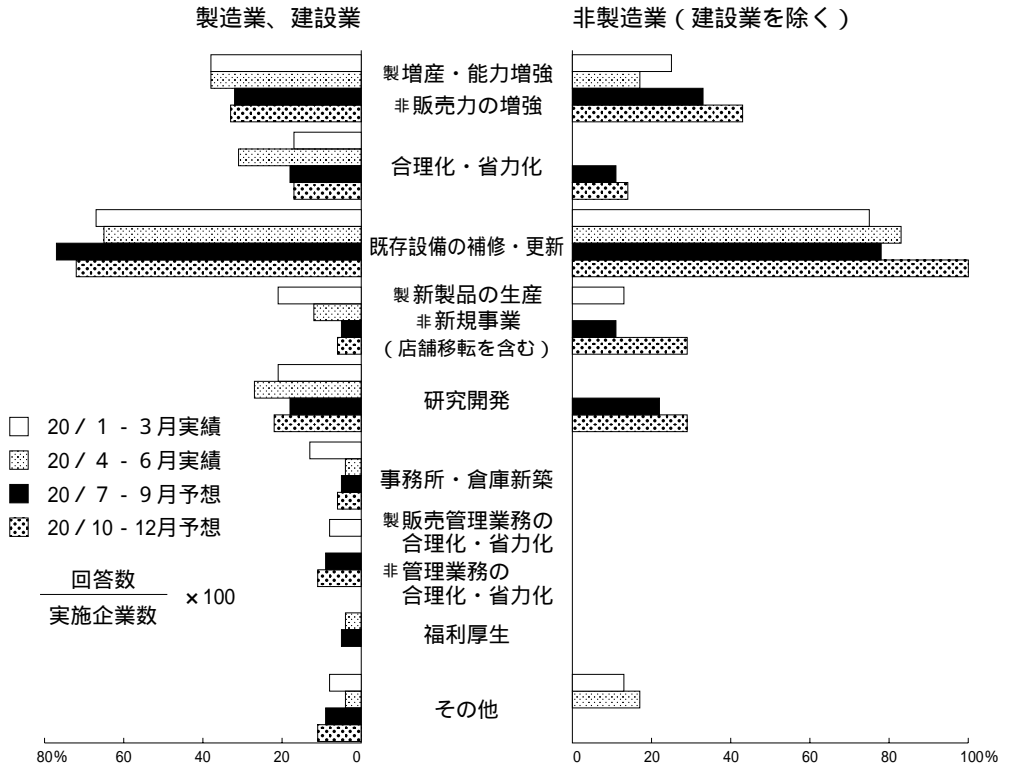


図 - 14 産業別設備投資の目的（複数回答、構成比）



11 経営上の問題点……「過当競争」、「売上・受注の減少」が増加

20年7～9月実績の経営上の主な問題点(2項目までの選択、回答なしを含む)は、「仕入価格の上昇」56%(20年7月調査57%)、「売上・受注の減少」46%(同44%)、「過当競争」23%(同15%)、「先行き見通し難」20%(同21%)、「諸経費の増加」14%(同22%)が上位項目だった。

10～12月は「売上・受注の減少」や「先行き見通し難」などが増加する予想となっている。

製造業の上位項目は「仕入価格の上昇」68%(20年7月調査60%)、「売上・受注の減少」43%(同34%)、「先行き見通し難」23%(同25%)、「諸経費の増加」16%(同26%)、「過当競争」13%(同8%)の順だった。10～12月は、最近の経済情勢や景気後退感を受け、「売上・受注の減少」と「先行き見通し難」が上昇する予想となっている。

非製造業の上位項目は「売上・受注の減少」50%(20年7月調査55%)、「仕入価格の上昇」42%(同53%)、「過当競争」35%(同22%)、「先行き見通し難」17%(同16%)、「資金繰り難」15%(同8%)の順だった。10～12月は「売上・受注の減少」や「先行き見通し難」などが増加する予想である。

図 - 15 経営上の問題点（上位5項目）

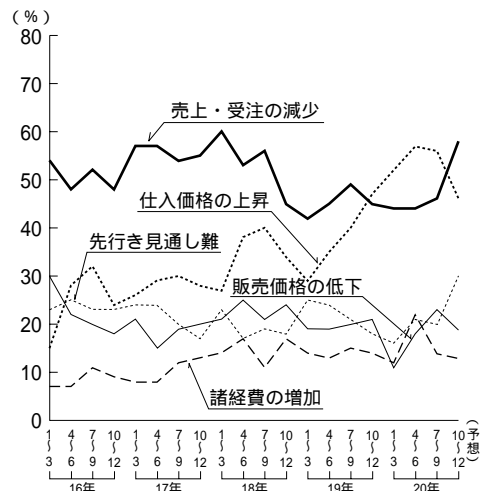


表 - 2 業種別 業況判断 B S I

業種	期 判断	20年4～6月実績				20年7～9月実績				20年10～12月予想			
		A 好転	B 不变	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不变	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不变	C 悪化	B S I A - C 2
全産業		23	37	40	8.5	18	43	39	10.5	7	48	45	19.0
食料品		50	25	25	12.5	44	34	22	11.0	11	56	33	11.0
繊維・縫製		40	20	40	0.0	25	50	25	0.0	0	75	25	12.5
木材・木製品		0	33	67	33.5	20	40	40	10.0	20	40	40	10.0
紙・紙加工品		25	50	25	0.0	0	67	33	16.5	0	67	33	16.5
窯業・土石		0	100	0	0.0	20	40	40	10.0	0	60	40	20.0
金属・機械		36	18	46	5.0	33	34	33	0.0	0	58	42	21.0
電気機械		29	28	43	7.0	8	46	46	19.0	8	23	69	30.5
印刷・その他		20	60	20	0.0	0	60	40	20.0	0	60	40	20.0
製造業		30	34	36	3.0	21	43	36	7.5	5	49	46	20.5
建設業		16	38	46	15.0	15	47	38	11.5	23	46	31	4.0
卸売業		17	50	33	8.0	18	29	53	17.5	0	47	53	26.5
小売業		11	45	44	16.5	10	70	20	5.0	10	60	30	10.0
運輸業		0	20	80	40.0	0	0	100	50.0	0	0	100	50.0
旅館・ホテル		25	25	50	12.5	20	40	40	10.0	0	60	40	20.0
非製造業		14	41	45	15.5	15	41	44	14.5	8	48	44	18.0

表 - 3 業種別 売上高 B S I

業種	期 判断	20年4～6月実績				20年7～9月実績				20年10～12月予想			
		A 増加	B 不变	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不变	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不变	C 減少	B S I A - C 2
全産業		35	26	39	2.0	30	24	46	8.0	15	39	46	15.5
食料品		50	25	25	12.5	56	11	33	11.5	22	45	33	5.5
繊維・縫製		60	0	40	10.0	25	0	75	25.0	0	50	50	25.0
木材・木製品		33	0	67	17.0	80	0	20	30.0	20	40	40	10.0
紙・紙加工品		25	75	0	12.5	0	67	33	16.5	0	67	33	16.5
窯業・土石		0	33	67	33.5	20	40	40	10.0	20	20	60	20.0
金属・機械		37	36	27	5.0	58	25	17	20.5	25	50	25	0.0
電気機械		29	35	36	3.5	23	31	46	11.5	15	15	70	27.5
印刷・その他		60	0	40	10.0	0	20	80	40.0	0	40	60	30.0
製造業		38	28	34	2.0	37	24	39	1.0	16	38	46	15.0
建設業		31	7	62	15.5	16	22	62	23.0	23	23	54	15.5
卸売業		39	33	28	5.5	18	29	53	17.5	0	47	53	26.5
小売業		44	34	22	11.0	30	30	40	5.0	30	50	20	5.0
運輸業		0	0	100	50.0	33	0	67	17.0	33	0	67	17.0
旅館・ホテル		25	25	50	12.5	20	20	60	20.0	0	60	40	20.0
非製造業		33	22	45	6.0	21	25	54	16.5	15	39	46	15.5

表 - 4 業種別 経常利益 B S I

業種	判断	20年4～6月実績				20年7～9月実績				20年10～12月予想			
		A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2
全産業		26	31	43	8.5	24	29	47	11.5	11	36	53	21.0
食料品		50	12	38	6.0	56	0	44	6.0	22	34	44	11.0
繊維・縫製		60	20	20	20.0	25	50	25	0.0	50	50	0	25.0
木材・木製品		0	33	67	33.5	20	20	60	20.0	0	60	40	20.0
紙・紙加工品		25	50	25	0.0	33	0	67	17.0	0	33	67	33.5
窯業・土石		33	34	33	0.0	20	40	40	10.0	20	20	60	20.0
金属・機械		46	18	36	5.0	33	25	42	4.5	0	42	58	29.0
電気機械		36	21	43	3.5	15	39	46	15.5	8	15	77	34.5
印刷・その他		20	60	20	0.0	20	0	80	30.0	20	20	60	20.0
製造業		37	27	36	0.5	29	23	48	9.5	12	33	55	21.5
建設業		15	39	46	15.5	23	15	62	19.5	23	39	38	7.5
卸売業		17	33	50	16.5	12	53	35	11.5	0	41	59	29.5
小売業		11	45	44	16.5	30	50	20	5.0	10	70	20	5.0
運輸業		0	20	80	40.0	0	0	100	50.0	0	0	100	50.0
旅館・ホテル		0	50	50	25.0	20	20	60	20.0	0	20	80	40.0
非製造業		12	37	51	19.5	19	35	46	13.5	8	42	50	21.0

表 - 5 業種別 販売価格 B S I

業種	判断	20年4～6月実績				20年7～9月実績				20年10～12月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2
全産業		30	50	20	5.0	28	55	17	5.5	29	51	20	4.5
食料品		38	62	0	19.0	33	67	0	16.5	44	56	0	22.0
繊維・縫製		20	80	0	10.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
木材・木製品		33	34	33	0.0	80	20	0	40.0	40	40	20	10.0
紙・紙加工品		25	50	25	0.0	67	33	0	33.5	100	0	0	50.0
窯業・土石		0	100	0	0.0	20	80	0	10.0	40	60	0	20.0
金属・機械		55	27	18	18.5	50	25	25	12.5	42	33	25	8.5
電気機械		14	36	50	18.0	0	61	39	19.5	0	46	54	27.0
印刷・その他		0	100	0	0.0	20	40	40	10.0	20	60	20	0.0
製造業		26	53	21	2.5	30	52	18	6.0	30	49	21	4.5
建設業		25	33	42	8.5	15	70	15	0.0	15	62	23	4.0
卸売業		50	33	17	16.5	35	47	18	8.5	41	47	12	14.5
小売業		44	56	0	22.0	40	40	20	10.0	40	40	20	10.0
運輸業		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
旅館・ホテル		0	75	25	12.5	0	80	20	10.0	0	60	40	20.0
非製造業		33	48	19	7.0	25	58	17	4.0	27	54	19	4.0

表 - 6 業種別 仕入価格 B S I

業種	判断	20年4～6月実績				20年7～9月実績				20年10～12月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2
全産業		70	26	4	33.0	69	28	3	33.0	65	33	2	31.5
食料品		88	12	0	44.0	100	0	0	50.0	100	0	0	50.0
繊維・縫製		20	80	0	10.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
木材・木製品		100	0	0	50.0	100	0	0	50.0	100	0	0	50.0
紙・紙加工品		75	25	0	37.5	60	40	0	30.0	100	0	0	50.0
窯業・土石		100	0	0	50.0	90	10	0	45.0	40	60	0	20.0
金属・機械		91	9	0	45.5	92	8	0	46.0	83	17	0	41.5
電気機械		57	29	14	21.5	62	30	8	27.0	46	46	8	19.0
印刷・その他		60	40	0	30.0	60	40	0	30.0	60	40	0	30.0
製造業		72	24	4	34.0	75	23	2	36.5	68	30	2	33.0
建設業		75	17	8	33.5	77	23	0	38.5	69	31	0	34.5
卸売業		67	33	0	33.5	47	41	12	17.5	53	41	6	23.5
小売業		56	33	11	22.5	50	50	0	25.0	50	50	0	25.0
運輸業		80	20	0	40.0	100	0	0	50.0	100	0	0	50.0
旅館・ホテル		50	50	0	25.0	80	20	0	40.0	80	20	0	40.0
非製造業		67	29	4	31.5	63	33	4	29.5	63	35	2	30.5

表 - 7 経営上の問題点（上位項目）

（単位：％）

	問題点	15年			16年			17年			18年			19年			20年			予想				
製 造 業	1 仕入価格の上昇	13	14	14	22	38	41	30	31	38	40	41	33	50	48	42	35	46	50	55	66	60	68	55
	2 売上・受注の減少	49	52	54	41	36	41	41	50	48	47	46	55	38	52	36	29	37	37	35	39	34	43	55
	3 先行き見通し難	38	35	27	29	32	25	22	26	19	18	16	22	20	19	20	24	25	23	20	11	25	23	36
	4 諸経費の増加	8	6	7	11	9	12	10	10	6	16	15	16	25	11	12	18	18	21	20	14	26	16	16
	5 過当競争	19	17	20	19	20	17	17	23	20	24	18	21	12	15	20	16	14	17	8	7	8	13	9
	6 人件費の増加	0	6	2	5	8	17	6	10	16	9	9	7	13	5	7	2	11	8	10	4	4	9	5
	7 販売価格の低下	48	42	29	30	23	23	17	18	13	22	18	22	22	23	20	20	18	17	24	11	21	7	5
	8 資金繰り難	10	7	12	8	3	4	4	6	6	7	4	5	5	5	10	9	7	12	10	14	15	7	11
非 製 造 業	1 売上・受注の減少	69	60	59	68	64	63	56	64	66	61	67	65	69	62	54	53	53	60	55	49	55	50	60
	2 仕入価格の上昇	11	2	6	7	16	24	18	22	20	21	13	20	26	31	25	24	24	32	39	37	53	42	35
	3 過当競争	29	25	37	38	36	28	25	29	34	29	33	25	33	36	37	28	31	28	18	27	22	35	31
	4 先行き見通し難	22	31	27	17	14	21	25	22	29	21	18	24	14	18	16	26	24	18	16	22	16	17	23
	5 資金繰り難	16	15	8	13	16	10	6	14	10	14	15	14	12	13	9	14	9	10	16	16	8	15	17
	6 諸経費の増加	0	7	8	3	4	10	7	7	10	9	12	12	9	11	23	10	9	10	8	10	16	13	8
	7 販売価格の低下	27	27	33	30	21	18	19	25	17	16	23	20	29	20	28	19	20	22	18	12	14	6	4
	8 金利負担の増加	4	7	6	5	7	3	1	2	2	2	2	4	2	2	4	7	7	7	6	4	6	6	6

注：上位2項目の複数回答、回答数÷企業数（回答なしを含む）

目の前のパソコンが、<とりぎん>の窓口になります。

とりぎん

法人インターネットバンキング

～インターネットで経理業務のスピードアップ!～

目の前のパソコンが、<とりぎん>の窓口になります。

もちろん専用ソフトは必要ありません。

低コストで経理事務がスピーディに行えます。



料金等払込みサービス
「Pay-easy(ペイジー)」対応

税金等の各種料金をインターネットバンキングで
お支払いいただけます。(取扱収納機関 順次拡大)

サービスメニュー

Internet Banking

サービス		フルWeb	エコノミーWeb
照会・振込サービス	残高照会	○	○
	入出金明細照会	○	○
	振込・振替(当日扱い)	○	○
	振込・振替(予約扱い)	○	○
料金等払込みサービス「Pay-easy(ペイジー)」	各種料金等払込み	○	○
一括データ伝送サービス	総合振込	○	—
	給与振込	○	—
	賞与振込	○	—
	Net集金(口座振替 代金回収)	○	—
	地方納税付	○	—
外為Webサービス	外国送金受付サービス	○	○
	輸入信用状受付サービス	○	○

9/16
スタート!

サービス基本手数料【月額】

Internet Banking

	月額基本手数料(消費税込)
フルWeb版	3,150円
エコノミーWeb版	1,050円
フルWeb版+外為Webサービス	4,200円
エコノミーWeb版+外為Webサービス	2,100円

— サービスに関するお問い合わせ、お申込みは —

<とりぎん>ビジネスWebサポートセンター

ハロー

シゴトサポート



0120-86-4513

携帯PHS OK

受付時間 平日/午前9時～午後7時 ※ただし銀行の休業日は除きます

TOTTORI
BANK



青い鳥の銀行です。

鳥取銀行

平成20年9月1日現在

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています



TOTTORI BANK

発行 鳥取銀行 ふるさと振興部
くらしと経営相談所

〒680 8686 鳥取市永楽温泉町171番地
TEL 0857-37-0220